

【議会報告会】

○今回上程された、四日市市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について、改正内容を確認したい。

各学童保育所に 1 名以上配置されている放課後児童支援員をより充実させるべく、資格要件をより緩やかにしたということか。

⇒議員 国の省令及び法改正に伴い、放課後児童支援員の対象拡大の規定を追加しようとするものであり、放課後児童支援員の基礎資格に教育職員免許の更新の必要がないことを明確化するとともに、「5 年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であって、市長が適当と認めたもの」及び「社会福祉学等を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて、学校教育法の規定による専門職大学の前期課程を修了したもの」を対象に追加し、学童保育所の指導員を充実させていこうとするものである。

○適応指導教室に通級する子供たちに対し、文化活動として萬古焼の指導を行ってはどうか。また、スポーツ活動の一環として、2020年の東京オリンピック、2022年の北京冬季オリンピックに向け、夢を持たせるよう指導してはどうかと考える。

⇒議員 ご意見のように、地場産業や伝統文化の活用は大切な視点である。しかし、教職員等の指導者が不足しており、その確保も重要であると考えており、市民の皆様からいただくご意見はその後押しとなるため、今後ともご意見をいただきたい。

○幼稚園に対する需要が減る一方で、保育園に対する需要は増加しているのではないかと感じる。そこで、近年、企業内保育所が注目されているが、本市の状況を確認したい。

⇒議員 手元に資料がないため確たる数字は言えないが、市内にも企業が従業員の子供を預る施設はいくつかある。

○企業内保育所は働く女性のための支援になると考えるがどうか。

⇒議員 本市では、4 月 1 日時点で 30 名程度の待機児童が発生しており、待機児童解消の手段の一つとして有効な手法であると考えているため、今後、市に対し進言していきたいと考える。

○子供の数の減少に伴い、認定こども園化を行うとのことであるが、どのような予定で行うのか。

⇒議員 現在、本市には認定こども園が2カ所あるが、本市では、公立幼稚園の園児数が一定の基準を下回った場合、公立幼稚園と公立保育園を統合して認定こども園化を行うという計画を定めている。今回、対象の3園について認定こども園化を進めようとしているが、今後さらに設置していくかどうかについては、少子化の状況次第ではあるが、率先して設置するものではなく状況に応じて設置していくものである。

⇒議員 本市では、公立幼稚園の4歳児と5歳児が混合クラスで運営している状況が3年続いた場合、地域の声も聴きながら、認定こども園化を行うという方向性を示している。

○保育園と幼稚園はそれぞれ厚生労働省、文部科学省の管轄下であるが、こども園化に伴い、従事する職員の資格要件について確認したい。

⇒議員 幼稚園には幼稚園教諭免許、保育園には保育士資格が必要であるが、本市では、両方の資格を持つ者を採用しており、こども園には幼稚園教諭と保育士の両方の資格を保有する職員を配属している。

【シティ・ミーティング】

《テーマ：介護・福祉について》

グループAにおいて出された主な意見

○地域包括ケアシステムについて、本市の取り組みがわかるようさらなる周知に努めてはどうか。

○地域包括ケアシステムの認知度が低く、そもそも言葉自体が浸透していないのではないかと感じる。

○各地区にある在宅介護支援センターは、要介護度・要支援度によっては利用できない場合もあるのか。どのような仕組みなのかわかりにくい。

○地域包括支援センターや在宅介護支援センターの場所がわからないので、各地区の住民にわかるよう工夫してほしい。

○福祉施設で働く友人が、利用者のために職場改善を求めてもそれが実現しないとの相談

を受けており、自分は学生のため正解はわからないが、問題意識を持って考えていくことが大事であると思う。

- 全国的に介護現場における虐待等の事件報道も聞くため、しっかりとした職員のマネジメントやストレスの緩和といったケアが重要である。
- 市外在住であるが、介護予防事業は重要であり、自身が住む地域においても、地元が主体となってふれあいいきいきサロン等の事業を実施しているが、漫然と同じことの繰り返しだけでは人が来なくなってしまうため、運営が大変であると聞く。高齢者のニーズを把握し、楽しんで参加してもらえよう工夫していくことが大切である。
- 本市の認知症対策について深く知りたいと感じた。
- 地域包括ケアシステムの普及率を指標として示してはどうか。また、今回のシティ・ミーティングで介護や福祉について知ることができたので、自身として地域包括ケアに携われることや、発信できることはないかと感じた。
- 全国的には、高齢の障害者に向けた施設が設置されており、本市にも設置してほしい。特に、聴覚に障害がある者にとっては、手話通訳ができる職員がいないと他者とのコミュニケーションがとりづらく、孤独になり、認知症になるのではないかと不安である。

グループBにおいて出された主な意見

- 他県において、看護師が入院患者を殺害するという事件があったが、医療従事者に対する研修や人材育成、そして、インシデント、アクシデントが起こらないようにすることが重要である。
- 多様な介護サービスがあるが利用条件等がわかりにくいため、いざ介護が必要になった時に十分に利用できるようにしてほしい。
- それぞれの地区で自治会や民生委員等との協力のもと、地域と介護をしっかりと結び付けていくことが重要である。
- 三重地区は、先進的に地域包括ケアシステムに取り組み、地域の雰囲気も変化しており、全国的にも有名であるが、地区ごとに格差があると感じるため、差を埋める必要がある。
- 家族だけで介護をしなければならない場合もあり、苦しい状況に陥ることもある。
- 自分の住んでいる地域で買い物ができないという高齢者が増えている。
- 将来、親の介護などに直面した場合には、仕事に大きく影響するのではないかと不安である。

○本市のイメージは、不便である、店が少ない、公共交通手段が少ないと感じており、暮らしにくいまちであると思う。